

- PPEは、使用ごとに行う通常の点検に加えて、定期的に適任者による詳細点検を受ける必要があります。ペツルは製品の使用期間を通し、12ヵ月ごとの点検および特殊な状況での使用後の点検を行うことをお勧めします。
 - PPEの点検は、メーカー指定の点検方法に従って行ってください。
- 点検に関する資料はペツルのウェブサイト PETZL.COM からダウンロードできます。

プロフェッショナルハーネス

1. 製品履歴の把握

異常な劣化が認められる PPE は、詳細点検を受けるまで隔離する必要があります。

ユーザーは以下の事を行う必要があります：

- 使用状況に関する正確な情報を記録する。
- PPE に生じた特殊な事象を全て記録する。
(例: 用具の落下、墜落を止めた、極端な高/低温下での使用または保管、メーカー施設外での改造等)

2. 予備的観察

個別番号と CE マークが付いていることおよび判読できることを確認してください。

備考：製品記載の個別番号のコード体系は変更されています。コード体系は2種類あります。それぞれのコード体系は以下を参照してください。

コード A:

00 000 AA 0000

製造年	00
製造日	0000
検査担当	AA
識別番号	0000

コード B:

00 A 0000000 000

製造年	00
製造月	A
ロット番号	0000000
識別番号	000

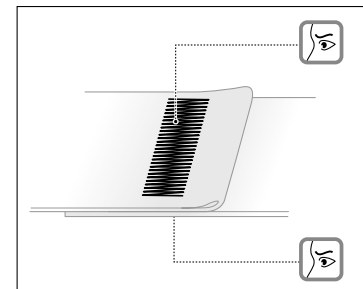
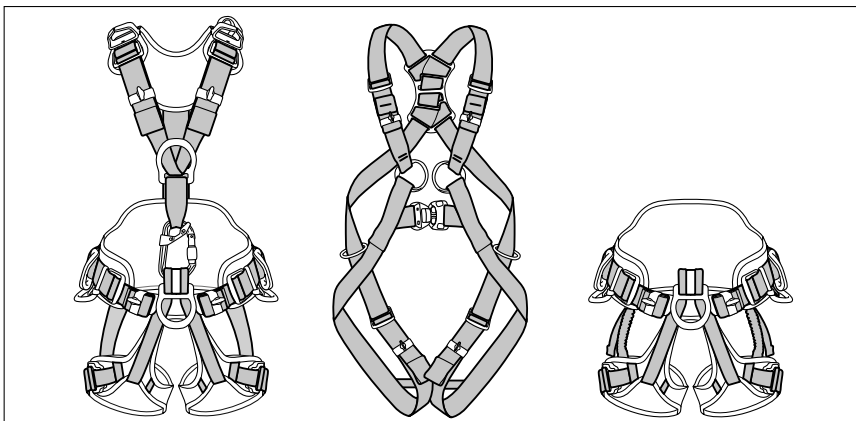
耐用年数が過ぎていないことを確認してください。
新しい状態にある同一製品と比較して、改造が施されていないことおよびパーツが欠損していないことを確認してください。

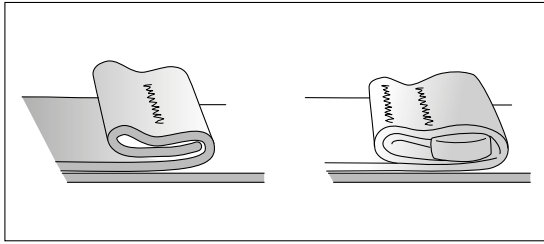


3. ストラップの状態の確認

使用や熱、化学物質との接触による切れ目や膨張、損傷や摩耗がないことを確認してください。ウエストベルトのストラップ、レッグループ、レッグループとウエストベルトをつなぐストラップおよびショルダーストラップ(該当箇所がある場合)を点検してください。バックルで隠れている箇所も点検してください。

- 安全に関わる縫製の状態を両面について確認してください。繊維糸にゆるみ、摩耗、または切れ目がないことを確認してください。安全に関わる縫製は、ウェビングとは異なるカラーで識別できるようになっています。

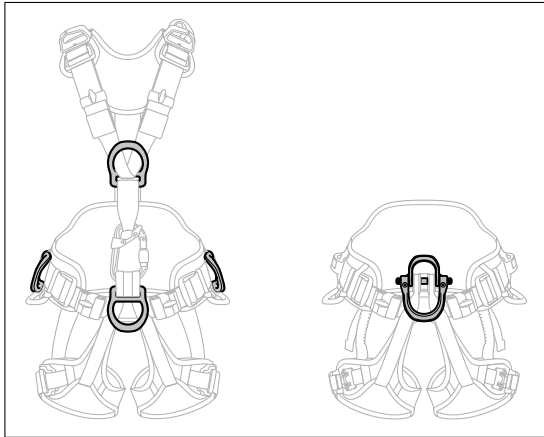




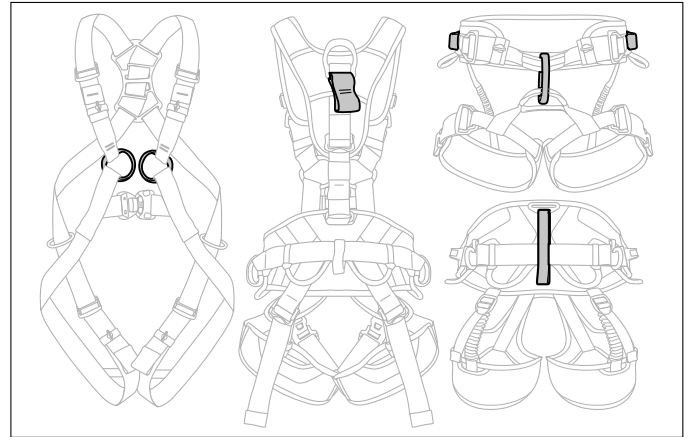
- ストラップの末端に抜け防止の折り返しがあることを確認してください。

4. アタッチメントポイントの点検

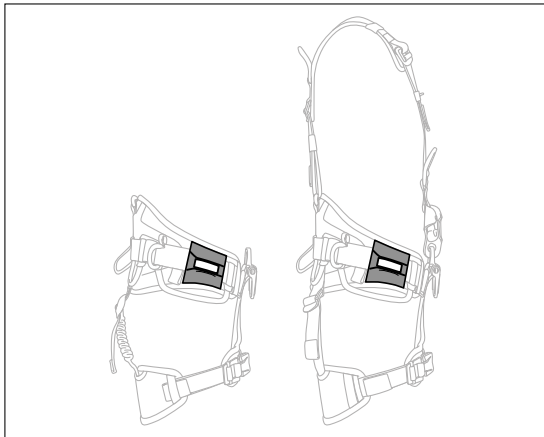
- 金属製アタッチメントポイントの状態を確認してください。（傷、ひび、摩耗、変形、腐食等）。



- 繊維製アタッチメントポイントの状態を確認してください（切れ目、摩耗、裂け等）。



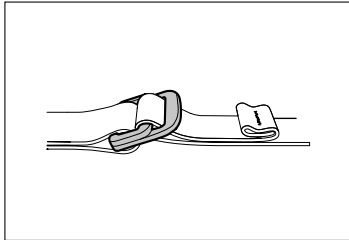
- プラスチック製アタッチメントポイントの状態を確認してください（切れ目、摩耗、裂け等）。



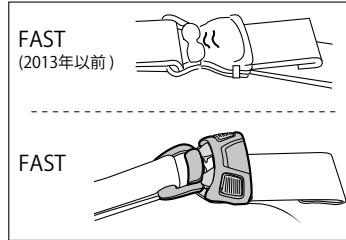
- 『ナバホ』および『アバオ』国際バージョンについては、フォールインジケータを確認してください。背部アタッチメントポイントに 400 daN を超える衝撃荷重がかかると、赤いフォールインジケータが見えます。

5. 調節バックルの状態の確認

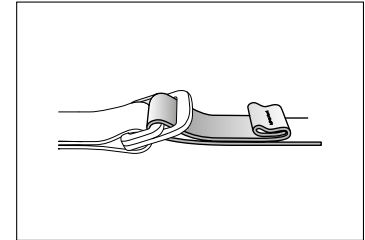
- DOUBLEBACKバックルの状態を確認してください（傷、ひび、摩耗、変形、腐食等）。



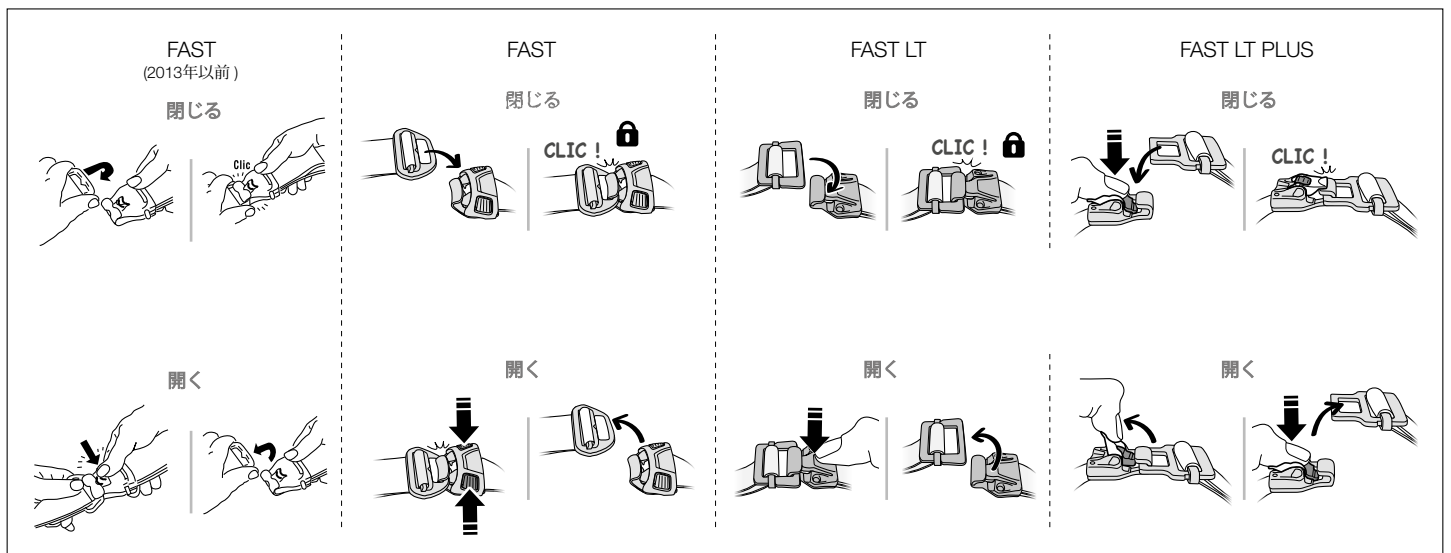
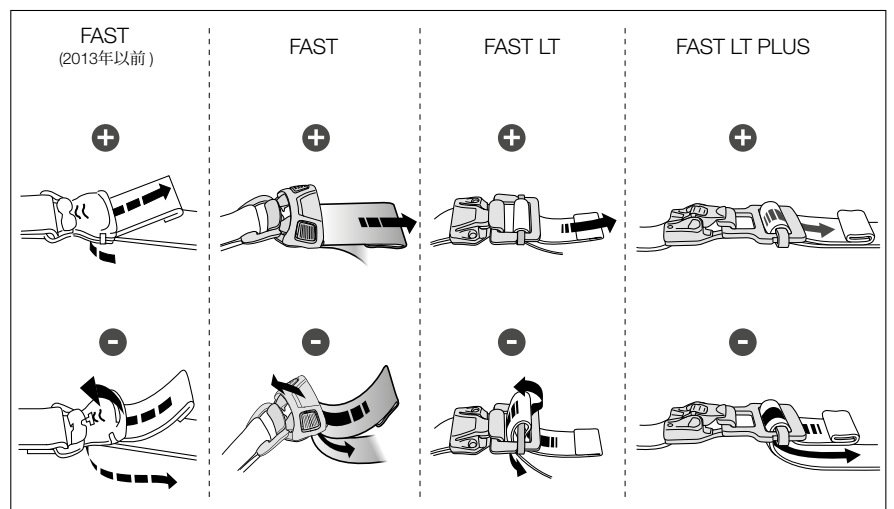
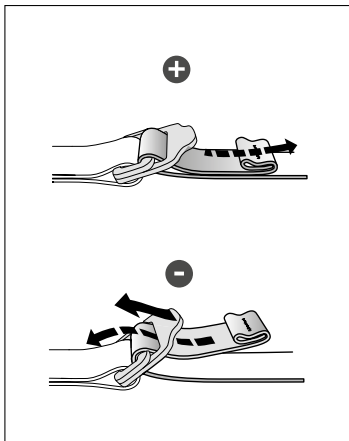
- FASTバックルの状態を確認してください（傷、ひび、摩耗、変形、腐食等）。



- ストラップがねじれることなく適切に通っていることを確認してください。

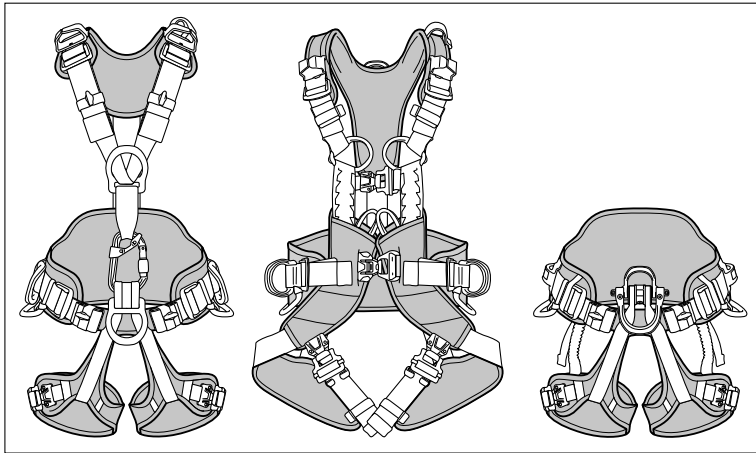


- バックルが正常に機能することを確認してください。

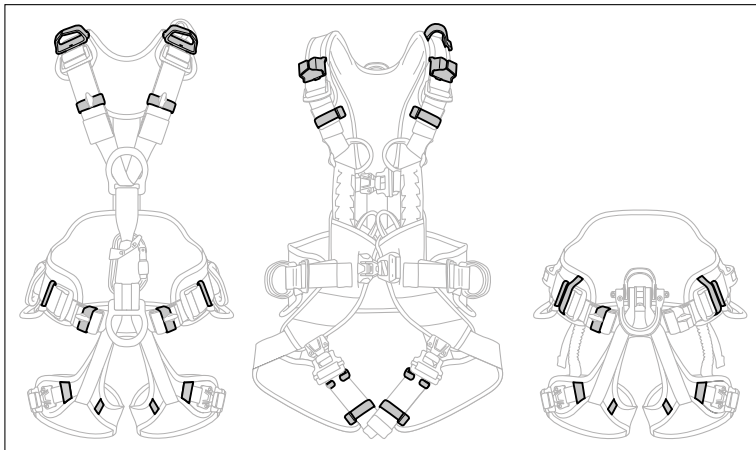


6. 快適性に関わるパーツの状態の確認

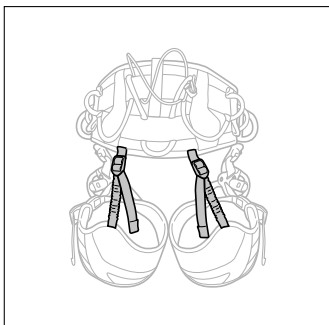
- ウエスト、レッグおよびショルダーのフォームパッドの状態を確認してください（切れ目、摩耗、裂け等）。



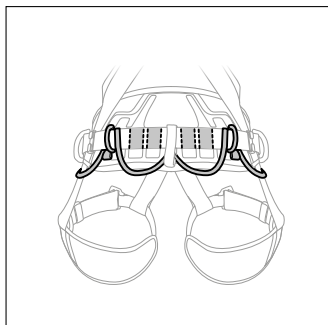
- 伸縮性またはプラスチック製リテーナーの状態を確認してください（切れ目、摩耗、裂け等）。



- レッグループとウエストベルトをつなぐ伸縮性ストラップの状態を確認してください（切れ目、摩耗、裂け等）。

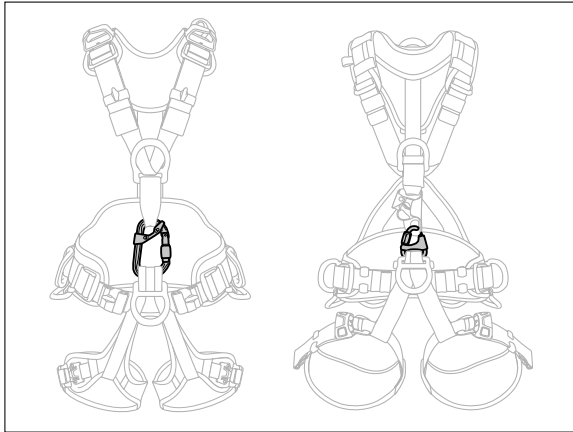


- ギアリングの状態を確認してください（切れ目、摩耗、裂け等）。



7. チェストハーネスとシットハーネスを接続するコネクターの状態の確認 (該当する場合)

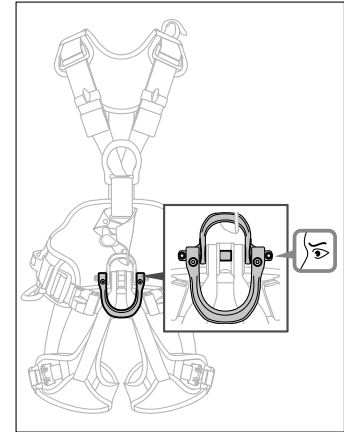
- コネクターの点検については、そのモデルの点検フォームを Petzl.com から参照してください。



- チェストハーネスとシットハーネスを接続するコネクターが付属している場合は、そのコネクターが付いていることを確認してください。

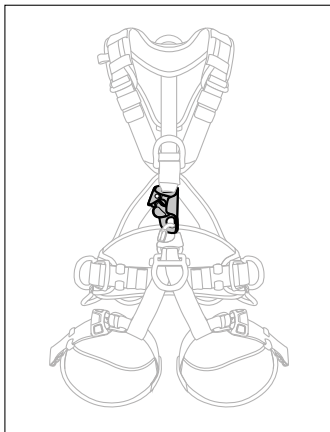
- 適切なモデルのコネクターが正しく取り付けられていることを確認してください。

- ゲート付きアタッチメントポイント: スクリューが付いて且つ適切に締められていることを確認してください。



8. ロープクランプ『クロール』の状態の確認 (該当する場合)

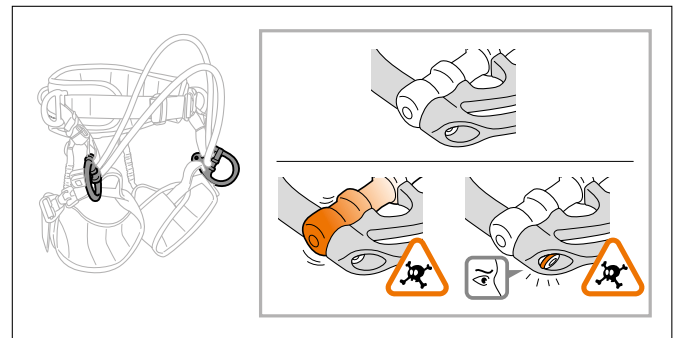
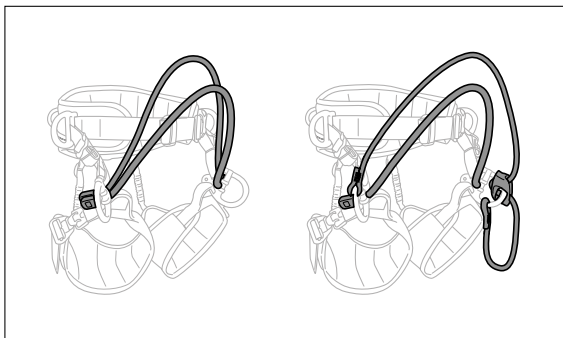
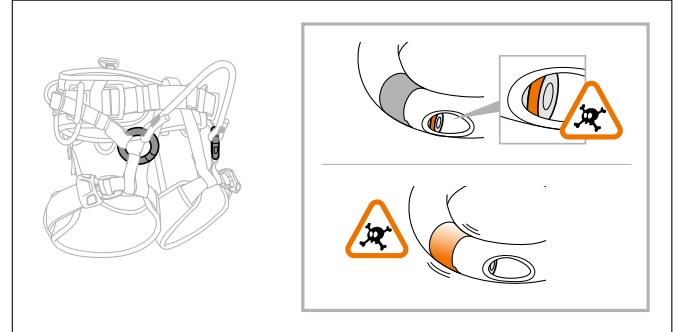
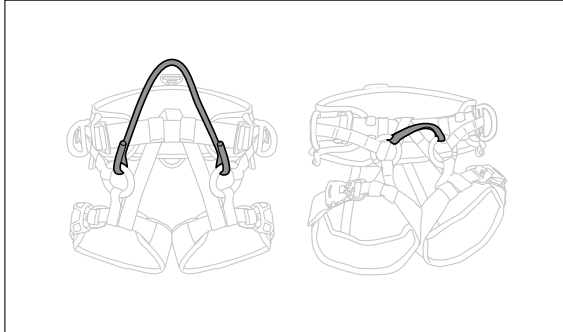
- ロープクランプの点検については、そのモデルの点検フォームを Petzl.com から参照してください。



9. 『セコイア』 『セコイア SRT』 の特例

• 繊維製アタッチメントブリッジの状態を確認してください(切れ目、摩耗、裂け等)。ロープ製アタッチメントブリッジについては、ロープに切れ目や熱による損傷、繊維のほつれ、柔らかい箇所、化学薬品との接触による損傷等がないことを確認してください。

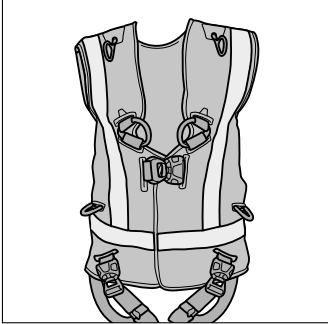
• ゲート付リングの状態を確認してください(傷、ひび、摩耗、変形、腐食など)。スクリューが付いて且つ適切に締められていることを確認してください。



対応表 (認証については考慮していません)		SEQUOIA (初代)	SEQUOIA (第二世代)	SEQUOIA (第三世代、2019)
			☑	☑
ブリッジ (初代)		☑	☑	☑
ブリッジ (第二世代: アイ加工付)		☒	☑	☑
ブリッジ (第三世代: 2019)		☒	☒	☑
調節型 ブリッジ (第二世代及 び第三世代)		☒	☑	☑

10. 付録: 廃棄または要修理ハーネスの例

11. ハイビズモデルは、ハイビズベストと反射ストラップの状態を確認してください(切れ目、摩耗、色褪せ等)。



11. 付録: 廃棄または要修理ハーネスの例

12. ギアリングの損傷



• 調節用ストラップの切れ目



• 保護用生地への損傷



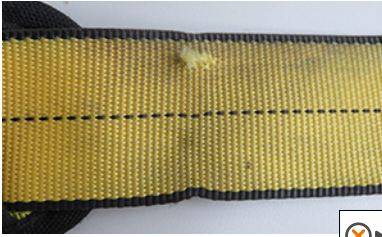
• 保護用生地への損傷



- 反転防止用バーが裏表逆に取り付けられている



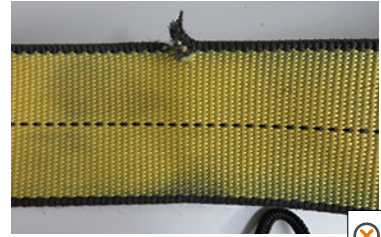
- ウェビングの損傷



- ウェビングへのマーキング



- ウェビングの切れ目



- ウェビングの損傷



- ウェビングの損傷



- 抜け防止の折り返しの縫製のほつれ



- アタッチメントポイントの損傷



- フォールインジケータの展開



- 安全に関わる縫製の損傷



- アタッチメントポイントの損傷



- アタッチメントポイントの損傷



- アタッチメントポイントの損傷



• D環の過度な摩耗



• バックルの破損



• 腐食



• 腐食



• 塗料の付着痕



• バックルの機能不全



▶ ベツルへお問い合わせください。